

プリンセス・クルーズ、アラスカ就航 50 年目のシーズン開始

アラスカクルーズ乗船客数ナンバー1 を誇るプリンセス・クルーズが、
新たなプログラムを携えてシーズンをスタート



[プリンセス・クルーズ](#)は、[ルビー・プリンセス](#)のケチカン、ジュノーへの寄港を皮切りに、[アラスカ](#)就航 50 年のシーズンがスタートしたことを発表しました。今年の夏は、5月11日にアラスカデビューを果たした[ロイヤル・プリンセス](#)をはじめ、7隻の客船がアラスカクルーズを運航します。

船上での新プログラムは、過去最大規模のコースが設定される5月から9月にかけてアラスカクルーズを運航する全客船でお楽しみいただけるほか、ロイヤル・プリンセスが、「オーシャン・メダリオン*」を導入した「メダリオン・クラス」の客船としてアラスカに初就航します。グローバルに展開するバケーション業界における、最先端のテクノロジーを駆使したウェアラブル・デバイス「オーシャン・メダリオン」は、クルーズで提供される様々なサービスの中から、お客様のご要望やお好みに合ったサービスの提供を実現し、さらに充実したクルーズ体験をご提供します。

*現在英語対応のみ

プリンセス・クルーズのマーケティング担当ヴァイス・プレジデントであるリサ・サイムは次のように述べています。「この50年で500万人以上という、他のどのクルーズラインよりも多くのお客様をアラスカにお連れしてきましたが、その中でも今季のクルーズが過去最高だと言えるでしょう。今からでもご予約可能なコースもあります。グレーシャーや野生生物など、アラスカの荘厳な大自然の美しさに身を置き、一生忘れることのできない夏の思い出をプリンセス・クルーズでぜひご体験ください」。

クルーズ会社のリーダーとして広く知られているプリンセス・クルーズでは、アラスカで必ず訪れたい場所に挙げられる「グレイシャー・ベイ国立公園」や「デナリ国立公園」などの見どころを訪れるクルーズや、クルーズツアーをバラエティ豊かに取り揃えています。アラスカクルーズは、バンクーバー、ウィットティア（アンカレッジ）、シアトル、サンフランシスコ、ロサンゼルスから出発する 8 日間から 13 日間の幅広い日程をご用意しています。

またプリンセス・クルーズは、川沿いの絶景を望む国立公園のそばにある 5 つのウィルダネス・ロッジを所有・運営し、20 以上ものクルーズツアー・オプションを提供しています。8 日間のクルーズに陸地で数泊するランドツアーと専用列車である「ウィルダネス直行」列車のサービスが含まれたツアーは、見逃せないコースの 1 つとして、決して退屈することのない最高のアラスカ・バケーションを満喫いただけます。

デナリ・プリンセス・ウィルダネス・ロッジにある「ファニーQ's サルーン」は、2019 年に初お披露目となります。この新しいレストラン・バーの名前は、有名なアラスカの開拓者、ファニー・クイグリーにちなんで名づけられました。彼女の生い立ちや経歴を紹介した、モダンな雰囲気のレストランでは、地元料理にインスピレーションを受けて作られた料理を、朝食やランチ、ディナーにてお召し上がりいただけます。ファニーQ's サルーンの外に位置し、3 つのファイヤーピットを備えた「ファイヤーサイド・パティオ」は、白夜の中、マシュマロを焼き、ドリンクを片手にそれぞれの体験を語ることできる、ゲストの団欒の場所として新たに登場します。また、この居心地の良いスペースでは軽食もご購入いただけます。そして、名前を新たに登場したファスト・カジュアル・レストラン「グリズリー・バーガー」では、米国旅行誌のクルーズ・クリティックで「洋上最高のハンバーガー」と称された受賞歴のあるハンバーガー「エルネスト」をお楽しみください。この手作りのリブアイバーガーは、日本でも人気の「ウマミ・バーガー」創業シェフ、アーネスト・ウチムラ氏がプリンセス・クルーズのためにプロデュースしたオリジナルメニューです。

また、マッキンレー・プリンセス・ウィルダネス・ロッジでは、アニマルプラネットのテレビ番組「ツリーハウス・マスターズ」に出演するピート・ネルソンが手掛けたお客様専用のツリーハウスにて、忘れられない最高の場所での最高の景色をお楽しみください。

新たに登場した船上での最高の体験

他では味わえないアラスカ体験をご提供する受賞歴のある特別プログラム「ノース・トゥ・アラスカ」では、ピアッツアに犬ぞりの「そり犬」の子犬が登場するふれあい体験、自分で釣った魚をお好みに合わせて船内で調理してもらえ人気の寄港地観光ツアー「クック・マイ・キャッチ」、船内にお招きする地元の人々から話を聞くプログラムの他に、この就航 50 年を記念して特別なテーマを設定した新プログラムが登場します。

オーロラ・プラネタリウム

言葉にならないほど美しい自然現象であるオーロラを、プリンセス・シアターでの屋内プラネタリウムでご覧いただけます。大自然が織りなす色とりどりの光のショーをお楽しみください。

ムースのマッキンレー

2017年初登場したプリンセス・クルーズのオフィシャルマスコット、熊のスタンリーのお友達として、ムースのマッキンレーこと「マック」が新登場。スタンリーは、プリンセス・クルーズの創設者であるスタンリー・B・マクドナルドに敬意を表して、フェイスブック投票により命名されました。また、マッキンレーの名前は、マッキンレー・プリンセス・ウィルダネス・ロッジに由来し、こちらもフェイスブック投票により選ばれました。5月からスタートした2019年アラスカクルーズでは、等身大のスタンリーとマックが、お客様との写真撮影をはじめ、様々な船内イベントに登場します。

船内のショップでは、24.95USドル（約2,800円）でスタンリーとマックのぬいぐるみを販売*、売上金の一部を、PAWS（Princess Animal Welfare Sponsor:プリンセス動物愛護スポンサー）の支援金として寄付します。

*現在マックの販売はアラスカクルーズのみ

陸地でのアドベンチャー

アラスカの大自然や文化に触れ、またそこでしか体験できないアドベンチャーが沢山詰まった新たな寄港地観光ツアーをジュノー、ケチカン、アイシーストレートポイントにて多数ご用意しています。

- ハバード・グレイシャーと荒野探検 - ハバード・グレイシャー
- ヨットで巡る贅沢ホエール・ウォッチング - ジュノー
- ジープ・アドベンチャー（ガイドなし） - ジュノー
- ケチカンのパブ巡り - ケチカン
- 自転車で巡る熱帯雨林トレイルとハイキング - ケチカン
- シーフード料理と民族舞踊 - アイシーストレートポイント
- ツリー・トップ・アドベンチャー・パークとジップライン - アイシーストレートポイント
- アドベンチャー・パークとジップライダー - アイシーストレートポイント
- 荒野ハイキングとカヤック・アドベンチャー - アイシーストレートポイント
- フーナでのバード・ウォッチング - アイシーストレートポイント

地元の専門家をお招きして

ナチュラリストから、テレビ番組「デッドリースト・キャッチ」に登場するカニ漁師、木こりの世界チャンピオン、アイディタロッド犬ぞりレースで女性初の優勝者など、船上に登場する地元の専門家からアラスカの独特な生活環境がライフスタイル、情熱、専門的なプロの技とどのように密接に関係しているのかなど、直接話を聞くことができます。

アラスカの味覚を楽しむ

メイン・ダイニングの素材を活かしたメニューでは、サーモンやカニなどのシーフードをはじめ、地元の素晴らしい料理をご堪能ください。

「グレーシャー・ティー」 & ビールテイasting

ロング・アイランド・アイスティーにアラスカの氷河の青を表現したブルーキュラソーを注いだ記念カクテル「グレーシャー・ティー」をお楽しみください。ビール好きの方は、ジュノーにあるアラスカン醸造所のアラスカビール数種類のテイastingもおすすめです。

アラスカ 50 年史の展示

船内のピアッツァ（アトリウム）にて開催されるミニミュージアムでは、50年に渡りアラスカを航海してきたプリンセス・クルーズの素晴らしい軌跡をご紹介します。

プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 17 隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、施設の豊富な選択肢を、上質なカスタマーサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間200万人のゲストを世界の360以上の目的地に向けて、3泊から 111泊の日程でバラエティ豊かな150以上のクルーズを運航。

プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](#) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国のトラベル関連のウェブサイト「USA トゥデイズ 10 ベスト.com」リーダーズ・チョイス・アワード 2017 において「ベスト・オーシャンクルーズライン部門」第3位、「ベスト・クルーズシップ ダイニング部門」にてロイヤル・プリンセスが第3位、「ベスト・クルーズシップ エンターテイメント」部門にてリーガル・プリンセスが第2位、「ベスト・クルーズシップファミリー向け客船部門」にリーガル・プリンセスが第5位、ロイヤル・プリンセスが第6位を受賞
- 米国クルーズ誌大手「ポートフォール・クルーズ・マガジン」リーダーズ・チョイス・アワード 2018 にて、「ベスト・マルチ・ジェネレーション・クルーズライン」、「ベスト・オンボード・ショッピング」、「ベスト・シグネチャー・カクテル」、「ベスト・ナイトライフ」を受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2018」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」を5年連続で受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード 2017」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を2017年12月に受賞。（11年連続の受賞）。マジェスティック・プリンセスが「ベスト・ニュー・クルーズシップ」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード 2017」にて、「ラージシップ部門賞」、「ベストクルーズライン クルーズコース部門賞」を受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーで「ベスト・クルーズ・ライン賞」を、2015年10月に受賞

【国内での受賞】

- 第9回「観光庁長官表彰」を2017年10月受賞
- 第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、海外領域ビジネス部門で部門賞を2017年9月受賞、また第1回同アワードにて、観光関連産業部門部門賞を2015年9月受賞
- 神戸市におけるクルーズ振興に貢献した功績が評価され、神戸市より「Cruise Line of Excellence」を2016年11月受賞
- 日本で歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度、2015年度、2016年度、2017年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を4年連続で受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ2014」を2015年6月受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」にて、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが2014年12月に「グランプリ」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」にて、「運輸部門優秀賞」を2013年9月受賞